

令和5年 1月号

オツと通信



着ている衣服が燃えて大やけど!

「着衣着火」に気をつけて



*寒くなる季節は厚着になるため、着ている服にコンロや仏壇のろうそくの火が燃え移る事故が増加します。身近な火気の取り扱いに十分に注意し、火に近づきすぎないように注意しましょう!

ひとこと助言

- スカーフ・ストール、袖口や裾が広がっているデザインや表面に綿・レーヨン等の羽毛がついている衣類などは着火しやすいので、火を扱う際には身に着けないようにしましょう。
- 調理中のコンロや火のついたろうそくが置いてある仏壇の奥に手を伸ばした際、衣類の袖口などに着火する危険があります。
- 万が一、衣服に火が着いたら、すぐに「脱ぐ」、「たたく」、「水をかける」などで、消火しましょう。

消費生活に関するさまざまな相談や苦情は

消費生活センター(5604-7055)にご相談ください。